

吉林省檔案館
編
廣西師範大學出版社

日本關東憲兵隊報告集（第一輯）9

廣西師範大學出版社

· 桂林 ·

目 录

东宁宪兵队思想对策月报(昭和十八年八月十日)	〇〇一
东宁宪兵队思想对策月报(昭和十八年十二月五日)	〇一九
阿尔山独立宪兵队思想对策月报(年代不详)	〇三三
阿尔山独立宪兵队思想对策月报(年代不详)	〇四七
阿尔山独立宪兵队思想对策月报(年代不详)	〇六六
阿尔山独立宪兵队思想对策月报(昭和十八年七月五日)	一九九
阿尔山独立宪兵队思想对策月报(年代不详)	二一七
阿尔山独立宪兵队思想对策月报(昭和十八年八月十二日)	二三四
阿尔山独立宪兵队思想对策月报(昭和十九年二月四日)	二六〇
关东宪兵队司令部思想对策月报(昭和十一年三月)	二八五
关东宪兵队司令部思想对策月报(昭和十二年十月)	三五〇
关东宪兵队司令部思想对策月报(昭和十二年十一月)	四〇七
关东宪兵队司令部思想对策月报(昭和十四年二月)	四四五

思想對策月報 第八號

東寧憲兵隊

發

報告先

開憲司

通報先

隣按各隊

11 各部隊

12 高檢

警本

目

一 要旨

二 民族共產運動

三 亮匪情報

四 各民族動向

五 宗教邪教情報

六 流言落書不穩通信

次

本現一件三名、武装謀者

口、思料セラル北背負袋、二回ニ亘リ二個發見

拾得セリ

2. 民心概平穩ニ推移シアルモ依然鮮滿系ノ經

濟統制、民食問題ニ對スル不平、不滿跡ヲ絶タス

3. ム伊首相ノ桂冠報導ニ對シテハ特異ノ反響ナ

キモ一部ニ於テハ樞軸側並大東亞戰爭ニ惡影

響ヲ及ホスナラント杞憂アリ

4 本斯曆憲兵ノ知得又ハ

タノ勞務者ノ所

係要注意事象ハ

1. 單獨又ハ党與迷走

五件ニ七名

口党與迷走入蘇

一件四名

ハ党與迷走入蘇未遂

二件九五名

ニシテ勞務者ノ動向ニ對シテハ嚴戒ノ要アリ

附兵ノ不法射撃ヲ受ケ、我方兵一即死

蘇聯ヨリ派遣セラレタルト認メラル、武装諜
 者出現一件三名武装諜者ノ携行品ト思料セラ
 ル背負袋ヲ二回ニ亘リ各一個拾得セリ
 状況左表ノ如シ

月日	場所	系統 数	区分	概 要
七、三	東寧縣老黑山村 院木台(老黑山東 南方約三五軒)	蘇聯 諜者 二三	出現	牡丹江駐屯第九四三部隊兵要地 誌調査班(安達中尉以下十四名)上 記地点ニ於テ武装諜者二三名ト遭

樞軸側並大東亞戰爭ニ要ス

響ヲ及ホスナラント杞憂シアルモノアリ

緊張乃至協力の事象

1. 恤兵献金

九件六八九円

2. 東寧在郷軍人分會

(第二國民兵教育、第二國民兵簡閲点呼勤勞奉

仕作業)

3. 東寧國防婦人會

(部隊慰問、勤勞奉仕作業)

二、各種(記念)行事

(宣戰詔書奉讀式、慰靈祭並遺骨還送、防衛訓練

日曜講話、勤勞奉仕作業)

(2)

ハ首相桂冠ニ伴フ動向

並

一般ニ特異ナル言動認メラレサルモ一部ニ於テ

ハ突然ハ首相ノ辞任ハ反樞軸陣營ノ宣

言ハナリ樞軸陣營並大東亞戰

争影響ハ大ニアラント杞憂シアル

運動活浚化セラレアリ遂次

皇民ダントスル熱意ヲ窺知セラルコモノア"テ
概ネ日人ニ随順シアルモ尙未タ一般ニ差別待
遇物資差別配給ニ對スル不満言動多キモ本期
間要注意特異事象認メス

3. 満人

民心概ネ平穩ニ推移シ本期恤兵献金三件ニ五
二月アリタルモ統制經濟ノ一層ノ四 一民食不

足ニ依ル生活ノ窮ムルハ一伴ノチ一
刻ニシテ反日(軍)的言動多發ノ傾向ニアリ
主ク要注意言動左ノ如シ

一、日軍部隊ノ演習ニ依ル農作物ノ損害ヲ誇

大ニ爲スルモノ

二、日軍兵ノ横暴ヲ非難スルモノ

三、出荷後ノ民食配給ノ不円滑ニ政府ニ對スル不信

食料運出ノ不円滑

各因難也故本年ノ出荷ハ

5. 物質不足ニ依ル商店經營困難ナリト訴フルモノ
6. 官憲ノ取締ハ酷ニシテ業者ノ立場ヲ無視シ

アリ

五. 宗教邪教情報

六. 流言落書不穩通信

以上該當事項ナシ

七. 其他

勞務者關係

本期中憲兵ノ取扱又ハ知得セル特種工人解放

工人一般工人ノ要注意事象左ノ如シ

ノ對日人紛爭

日時場所	人員	概要	摘要
七、一 三時頃	勞務者 一〇數名	把頭ト爭論シアル勞務者ヲ日人監督 カ取鎖メントセシニ反抗的態度ニ出テ タルヲ以テ顔面ヲ毆打セルニ激昂該勞務 者ハ反撃シ斗争トナリタルヲ目撃シ	動向監視中
長安縣ト云	日人監督	附近ニ在リタル勞務者十數名ハ日人 監督ヲ圍繞シ暴行ノ舉ニ出テント	

此ヲ前記に照らし

連刻し来り

連刻し来り

各労働者一ノ腎部ヲ棒切ヲ以テニ

回殴打セルニ該労働者ハ之ニ憤慨

所持セル鋸ヲ以テ日人監督ノ顔面ヲ

殴打セリ然ルニ之ヲ目撃セル他ノ日

人監督ハ生意氣ナリト棍棒ヲ以

テ殴打頭部ニ全治一ヶ月左肩部ニ

全治二十日ヲ要スル打撲傷ヲ與

ヘリ

組別責

及

全員ニ対シ

諄

動向監視

中

南村

日人監督

二

2. 単独又ハ兇與逢立状況

日時	場所	介	人員	種別	摘	要
七六 日三時 至四時三十分	東寧縣大肚より南 方十二里		七	一般工人	軍用道路南	少二車ニ就勞中

